

胃癌

病理診断アップデート講習会：

改定 WHO 分類・規約分類ポイント解説

2026/4/11 土

※ Web 参加も可（後日オンデマンド配信）

※ 開始時間など詳細は追ってHPにてご案内いたします。

会場：EBiS303 5F カンファレンススペース ABC（東京・恵比寿）

参加費：無料 ※参加は日本病理学会会員に限る

重要な改定あり！
すべての病理医のために！

今年度末までにWHOブルーブック（消化器）と
胃癌取り扱い規約の改訂版が発刊予定で、
重要な改定内容も含まれています。

執筆担当者を講師として、

改定内容を中心に日常診断で知っておきたい

知識のアップデートを行いますので、

奮ってご参加ください！

質問できる現地参加！マイペースでオンデマンド参加！？



プログラム

1. 前癌病変
（WHO 分類 adenoma/dysplasia の改定内容）
牛久 哲男（東京大学大学院医学系研究科人体病理学・病理診断学）
2. 胃癌
（WHO 分類と胃癌取り扱い規約の改定ポイント）
九嶋 亮治（滋賀医科大学医学部病理学講座（人体病理学部門））
3. 上皮内癌（pTis）と粘膜内浸潤癌（pT1a）の
鑑別ポイント
谷口 浩和（帝京大学医学部附属病院病理部）
4. 腸型腺腫と胃型腺腫
関根 茂樹（慶應義塾大学医学部病理学教室）

5. 胃癌（特殊型・その他の亜型）
八尾 隆史（順天堂大学大学院医学研究科人体病理病態学講座）
6. 神経内分泌腫瘍
河内 洋（がん研究会有明病院病理部）
7. 術前化学療法効果判定の意義
喜多 亮介（京都大学医学研究科消化管外科学）
8. 胃癌バイオマーカー検査アップデート
桑田 健（国立がん研究センター東病院遺伝子診療部門）

主催：一般社団法人日本病理学会／アステラス Educational Grants「教育助成」プログラム

世話人：牛久 哲男（東京大学大学院医学系研究科人体病理学・病理診断学）